



# 議会だより

No.148  
令和7年8月7日

## 松崎

「門野富貴野山宝蔵院 弘法杉」



議会だより、定例会一般質問動画は松崎町議会ホームページでも視聴可能です。



the most beautiful  
villages  
in japan

松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

### 《主な内容》

#### 第2回定例会（6月3日～6月5日）

令和7年度補正予算 ほか	2
令和6年度企業会計決算 ほか	3
議員会町内視察 ほか	4
町政を問う 一般質問に7議員	5

# 令和7年第2回定例会

令和7年第2回定例会が、6月3日から5日までの3日間で開催されました。本定例会では、令和7年度補正予算案など17議案について審議を行い可決・認定しました。

## 一般会計補正予算

補正予算(第1号)は、歳入歳出にそれぞれ35万7千4百円増額し、補正後の額を44億8075万4千円とするもの。



第2回定例会 議場の様子

**歳入では、**国庫補助金、過疎対策事業債を増額し、県支出金を減額した。歳入不足額は財政調整基金から繰り入れた。

**歳出では、**価格高騰重点支援給付金事業、農道伏倉山崎線拡幅に係る電柱移転補償費、伊豆西南海岸観光誘客推進協議会負担金、ネットワークアセスメント業務、カーナビ・ワンセグ携帯電話に係るNHK受信料などを増とした。

**問** NHK受信料でワンセグ携帯分があるが、必要なものか。どういった業務のときに使っているのか。

**答** 総務課長 生活環境

課で水道関係業務やごみ収集の際、連絡用で使っている。教育委員会では学校で使用している。

**問** 伊豆西南海岸観光誘客推進協議会の負担金によりどのような事業が行われるのか。

**答** 企画観光課長 伊豆の極めしのグレードアップを目指す。

**問** 昨年はズガニを使ったおかげができたが、その商品の効果はあったか。

**答** 企画観光課長 商品開発の方向性は決まらなかった。今回、地域の食材桜葉を使いカレーの商品化に向け取り組んでいきたい。

**問** ネットワークアクセスメント業務で小中学校通信環境が改良されるのか。

**答** 教育委員会事務局長 AIドリルなど複数利用の時反応が遅かった。新しいタブレットが導入されるので改良していく。

**問** 令和7年度に水道料の大幅値上げになるが、使用量はどのようになっているか。

**答** 生活環境課長 11月頃から使用量が減っている傾向が見られる。

## 令和6年度 企業会計決算

決算の概要は、広報まつざき7月号をご覧ください。

## 水道事業

**問** 雲見入谷空気弁設置工事で水の白濁は解消されたのか。

**答** 生活環境課長 水道本管の箇所については、ほぼ見られない。水の出し方により家の中では白濁は見られるが、1分程で解消している。

**問** 施設の減価償却が90%を超えるものがあるが、改修費用はどのように考えているのか。

**答** 生活環境課長 6億円を超える資金の中で補修の対応をしてきた。現状も漏湯はない状況だが、長期的に見て修繕も考えていきたい。

**問** 水道代も値上がり温泉切替えへのチャンスだが、加入金200万円がネックだと思う。その対策はあるか。

**答** 生活環境課長 個人の売買加入金は安くなっている。月の使用料にも課題があり、アドバイザーも頼み考えていきたい。

## 伊豆まつざき荘事業

**問** 施設が18年経過して老朽化している。決算の修繕費は400万円ですが、多額の修繕費を確保していくための経営計画はどのように考えているか。

## 温泉事業



**答** 企画観光課長  
 修繕の必要な箇所は多い。6年度決算は黒字となったが、空調修繕に回す資金はなかった。計画的に修繕していかねければならないが、今後の運営状況により対応していく。

**問** ハード対策は急務な課題となっており。今のまつざき荘の資金状況では、一般会計から補助が現実的である。投資財政計画を基に議会で議論する考えはないか。

**答** 町長 専門人材投入による経営立て直しなどにより、増収となったが、修繕計画などをたて、相談をさせてもらいたい。

第2回定例会・第2回臨時会(6/18)の概要・賛否状況一覧

議会名	議案番号	件名	藤井昭一	菜野良枝	高橋良延	小林克己	深澤守	高柳孝博	藤井要	議決状況	
第2回定例会	議案第55号	松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について 国民健康保険税課税限度額について基礎課税額(医療分)を1万円増の66万円に、後期高齢者支援金課税額を2万円増の26万円に、国の法定限度額に合わせ改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第56号	松崎町立学校給食共同調理場の設置及び運営に関する条例の一部を改正する条例について 伏倉の新調理場が建設されたことから、中学校裏の現調理場をR7.7.31までとし、R7.8.1からは伏倉の新調理場とするもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第57号	令和7年度松崎町一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第58号	令和6年度松崎町水道事業会計収入支出決算の認定について 総有収水量744,809m <sup>3</sup> 、収益的収支の総収益1億6,702万円、総費用1億4,560万6千円。資本的収支の総支出8,905万8千円。	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	議案第59号	令和6年度松崎町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第60号	令和6年度松崎町温泉事業会計収入支出決算の認定について 総湯量182,958m <sup>3</sup> 、収益的収支の総収益5,464万円、総費用4,308万7千円。資本的収支の総支出3,661万3千円。	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	議案第61号	令和6年度松崎町温泉事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第62号	令和6年度松崎町宿泊施設「伊豆まつざき荘」事業会計収入支出決算の認定について 宿泊客数19,249人、施設利用人員27,242人、収益的収支の総収入2億8,926万3千円、総費用2億8,532万6千円、当年度純利益393万7千円、当年度未処理欠損金2億7,180万2千円。	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	議案第63号	令和6年度松崎町岩地漁業集落排水事業会計収入支出決算の認定について 使用水量22,160m <sup>3</sup> 、収益的収支の総収益1,254万円、総費用1,231万2千円。資本的収支の総支出30万円。	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	議案第64号	令和6年度松崎町石部農業集落排水事業会計収入支出決算の認定について 使用水量18,050m <sup>3</sup> 、収益的収支の総収益1,052万1千円、総費用1,024万円。資本的収支の総支出30万円。	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	議案第65号	令和6年度松崎町雲見漁業集落排水事業会計収入支出決算の認定について 使用水量44,052m <sup>3</sup> 、収益的収支の総収益4,743万2千円、総費用4,782万4千円。資本的収支の総支出382万8千円。	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	議案第66号	令和7年度静岡県学習用コンピュータ等の調達(Chrome)売買契約について 小中学校の児童生徒が利用する、静岡県にて共同調達したGIGA第2期用端末の売買契約(契約先:西日本電信電話(株)静岡支店、契約金額1,294万9千445円)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第67号	教育委員会委員の任命について(高橋恒彦氏:雲見区)	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第68号	固定資産評価審査委員会委員の選任について(山本進氏:伏倉区)	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第69号	松崎町議会会議規則の一部を改正する規則について 会議時間、選挙方法などの効力の異議、タブレット・スマートホンの議場への持ち込みなど改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第2回臨時会	議案第69号	令和7年度松崎町一般会計補正予算(第2号)について 歳入歳出に1,623万2千円増額して補正後の額を44億9,698万6千円とするもの。歳入は、役場庁舎2・3階の空調設備改修工事1,500万円、工事期間中は役場に、工事終了後には避難所に設置する災害対策用資機材(スポットクーラー)123万2千円。歳入は、財政調整基金より繰入対応するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

賛成:○ 反対:× 欠席:-

工場の効果などをチェック  
議員会町内視察

5月19日、議員会は、令和6年度に施行された工事箇所の中から10カ所を選定し、現場視察を実施した。

主なものは次のとおり。

◎里山林整備事業支障木伐採業務委託（江奈）  
（工事費1465万円）

森林環境譲与税を財源として、町道江奈門野線において、倒木の恐れのある箇所を道路から5mほどを伐採した。



通行止めになることを予防する

◎松崎町学校給食共同調理場建設工事（伏倉）  
（工事費13億3087万円）

松崎中学校横調理場の老朽化に伴い伏倉の旧町営住宅跡用地へ建設。幼小中学校分の給食を1日に、350食ほど調理していく。

エアーカーテンなど調理エリアごと区分され、災害時にはガス式発電や貯水された水が地区で利用できる。



新学校給食共同調理場

◎農道伏倉山崎線道路改良工事（伏倉・南郷・桜田）  
（工事費13757万円）  
鮎川農地整備に伴い、伏

倉橋から農地の間を複数年に分けて施工。今年度は76mで舗装工、法面吹付工を実施した。拡幅・法面整備されたが、路上駐車などの道路管理問題が懸念される。



伏倉山崎線法面吹付工

◎宇治橋配水管布設工事（山口・金沢）  
（工事費1842万円（2ヶ年計））

宇治橋架替工事に伴い、一部は県からの補償を受け、水道配水管を耐震性のあるポリエチレン管へ布設替えした。

視察研修

6月19日、総務常任委員会は、西伊豆町や松崎町内施設を視察し、研修を行った。

津波避難施設

西伊豆町では5基整備済みで、あと2基整備予定。役場の隣の津波避難施設は、エレベーターがついている。一次避難で450人ほどの方が避難できる。備蓄品は水、トイレ、アルミブランケットを用意して最長で2日間の避難に対応できる。



西伊豆町役場隣の津波避難施設屋上

トイレトレーラー・給水車

トイレトレーラーは、一部クラウドファンディングを利用して購入した。今まで松崎町も含め4回出動した実績がある。平常時は地域の訓練やイベントで使用している。給水車は、普通免許で運転できて、トイレトレーラー用に給水することもできる。



西伊豆町の給水車とトイレトレーラー

そのほか、まつぎ荘のエアコン設備と防潮堤嵩上げに伴い対応が必要なウッドデッキ、宮内の旧山田邸の施設の管理状況や防災倉庫を確認した。

**問** 人口減少歯止め対策は

**答** 町の総合戦略を基に

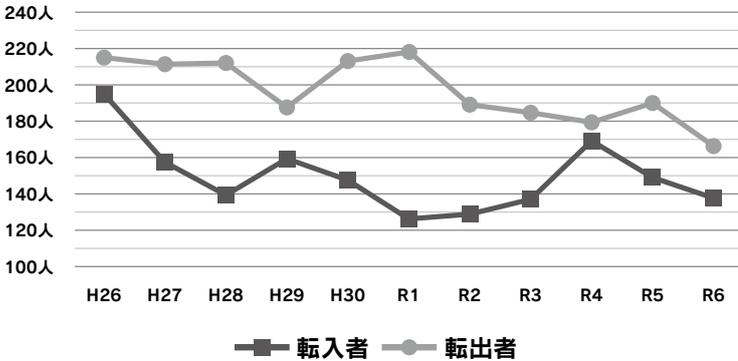


藤井 かなめ  
議員



動画

松崎町転入出者数推移



松崎町の過去 10 年間の  
年間転入出者推移グラフ

**問** 令和7年4月1日の町の推計人口は5300人を切り、令和6年度の転出転入数をみてもマイナスであった。自然動態減少が続く現状を見て、どのようなまちづくりを行っているのか。

**答** (町長) 1月に策定した第3期総合戦略を基に進めていくが、これまでの「未来への循環」の基本姿勢を継続しつつ「地域経済の強化・人を呼び込む・子育て教育・健康で安心の循環」を引き継ぎ、時の流れや変化に合わせて、まちづくりを進めていく。

**問** 地域外に出ていった方が故郷に戻ってもらうUターン者に対する政策が足りないのではないか。

**答** (町長) 特にUターン者には町に縁がある方で、他の移住者に比べ移住する可能性が高いので、移住定住促進事業の中でいろいろと努めている。

**問** 危険家屋行政介入は法律に基づいて対応

**問** 「危険な空き家」対策については、幾度となく質問を行ってきたが、明確な回答を得られていない。令和6年4月より相続登記が義務化されたので、「危険な空き家」に対する条例の制定と相続人不明な土地家屋が町に与える影響を伺う。

**答** (町長) 空き家対策などは重要であるが、本年度産業建設課の職員を減員したこともあり、対策計画の検討を見合わせることにした。

**問** 町内に壁が落ち隣家に接している危険な家屋がある。個人の持ち物に対し行政介入ができないと言っているが、事故回避からも条例、委員会を作り住民の安心安全を考えるべきではないか。

**答** (町長)

さまざまな要求要望があるが、日本は法治国家であり、法律に基づいてやるしかないというのが現状である。

**問** 広域ごみ事業対策は

**答** 多様な考えで検討

**問** 6月3日の新聞記事にて、広域ごみ処理事業から南伊豆町が離脱を表明する旨の記事があった。当町はどのようなことを想定し対策を練っていくのか。西伊豆町との緊密な連携も必要ではないか。

**答** (町長) 南伊豆町ではオリックス資源循環(埼玉県)へごみを搬出しているが、今後の状況を見ていく必要があると考える。また、当町の施設を大規模改修してまでとなると、非常に難しい問題であるので恒久的な立場からしっかりと検討していく。

### 問 職員10人の退職要因は

答 一概には捉えられない



小林 克己 議員



動画

問 職場の環境改善として何に取り組み、本年度は何を取り組むのか。

答 (町長)

株式会社リンクアンドモチベーションを通して、課内における相互尊重精神を高めるための施策の実施、職場内における結果共有と今後の対応に取組んだ。本年度はハラスメントに関する研修や課長補佐・係長職の職員

有志を中心にアクションでの取り組みを進める。

問 初任給を賀茂郡内の他町と比べると初級(高卒)中級(短大卒)で差

があり低い。初級は年間約10万8千円になる。初任給は同じスタートラインにするべきではないか。

答 (副町長)

処遇改善や採用の方法など今後の検討課題とし

て受け止めたい。

問 町長だけや町長と特定の議員による出張や研修が見られる。他の自治体の良いところを勉強することは良いことだが、職員を同行させないで他の自治体の良い所を職員に検討させることは、仕事量を増加させ、休職や離職の原因につながるのではないか。

反問権※(町長)

どの出張のことか。

反問に対する説明

(小林議員)

北海道の映画祭への出張の際、職員を同行させなかったのはなぜか。

答 (町長)

旅費のすべてが自費であり、プライベートでしたので職員を同行させていない。

※反問権とは

議会の会議において、議員からの質問や質疑の趣旨、内容、背景、根拠、考えなどを確認するため、

町長や町の職員が、議員に質問することをいう。

町長その他、議員の質問・質疑に対して答弁する者に反問権を付与すること、議論の論点・争点の明確化が期待され、より一層開かれた議会を目指す。

問 赤線青線の管理は

答 町が所有・管理

問 農業用水として利用している青線へ、通行するための赤線・青線が、施設により通行できない箇所があるが、町の見解は。

答 (町長)

他に隣接する土地所有者がいなかったとしても法定外水路と法定外道路は町が所有・管理するものであり、公共物である。これらを占有するには最低限の範囲で許可を受ける必要があるが、法人に対し、対象箇所の施設を撤去するか、ルールに基

づく対処をするか、いずれかをするよう指導しており、対応を注視している。

問 また、別の農業用水にも牛原山からの土砂が堆積している。そのため牛原山の治山が必要であるが、治山計画はあるか。

答 (産業建設課長) 治山計画はない。



管理されている農業用水

# 問 業務の改革について

# 答 更なる改善を目指す



高柳孝博 議員



動画

## 魅力ある職場はモチベーション

(動機・意欲)が高い、モチベーションをあげる方法は？

自分で選択できる

成長できる

目的がある

**問** 若い世代が離職していく。応募も十分とはいえない。魅力ある職場への策はあるか。

**答** (町長)

職員の退職や休職により実際に働ける職員数が減少している。

昨年度途中から年齢枠の撤廃を行うなど、社会人経験のある中途採用職員の随時採用を推進し対応しているが、十分な職員数を確保できていない状況。

**魅力ある職場への策は、職員組合との対話などを通じて対応して行きたいと考えている。**

**問** ノー残業デーは、仕事が減らない限りは後ろへとまわっていく。ノー残業にするための課題と方策は。

**答** (町長)

ノー残業にむけて時間を短縮する工夫と改善を目指し、課長が残業命令簿によりルールを守りながら改善をしていく方向を探していくように取り

組んでいる。

**問** DXによる改善は

**答** DX推進計画で

**問** これまでやれることとして何を進めてきたか、

DXでは業務を改善していったり身の回りの環境であるとか仕事のやり方、定型的な仕事、業務の流れが変わって仕事と生活のバランスが良くなって自分の成長につながる。システムの導入については、職員の将来を見据えて考えていくと、やりがいがあるのではないかと。

**答** (町長)

DXについてはDX推進計画に掲げているが、今までやってきて効率が良いかと思うものも効率が悪くなっていることがある。若い人たちと学び、歩を進めていって、何のためにDXを使うといった視野を持つことが大事で、上司を含め学んでいかなければならないと考える。

**問** 西豆に貢献者の支援を

**答** 戻る人へ支援策で

**問** 教育では、西豆に貢献する人を育てるとして仕組

みをつくりたいとのことだが、町で学んで卒業後に起業する、職に就くということになったときに受け皿的なものが必要と考える。

他市町ではその市町で育った人が帰ってくることにさまざまな特典を付けている。実際にここで育った人が帰ってくることは、その人のご両親、祖父母もいらっしゃることもある。今まで以上の特典が必要ではないか。

**答** (町長)

町として起業支援の予算を柔軟に使う方法がないか、インターン、Ｊターンの、Ｕターンの移住定住の各ターン関係について、もう一度いろいろな形で考える必要があり、ニーズを研究しながら、将来の松崎町に対して効果がある方法を考える。

**問** 高齢者等の避難をどう考えるか

**答** 個別避難計画を作成する



藤井 昭一 議員



動画

**問** 那賀川水門整備は

**答** もうすぐ計画案が完成

**問** 3月31日に内閣府が南海トラフ巨大地震の新たな被害想定を公表した。松崎における最大津波高さは18メートルで、従来よりも2メートル高くなった。町民から心配の声が聞かれているが、那賀川河口の水門の整備状況はどうなっているのか。

**答** (産業建設課長)

県は学識経験者や住民代表などを交えて那賀川水系流域委員会を設けて事業実施に必要な河川整備計画について検討を重ねている。今年度中には原案が完成し、その後、地域住民の意見募集をしていく予定。

**問** 具体的にいつ頃に建設されると考えるか。

**答** (産業建設課長)

県からの具体的なスケジュールはきていないが、計画ができれば、基本設

計、実施設計と移っていくので、まだ、数年はかかると思われる。

**問** ふるさと納税の目標は

**答** 1億円を目指す

**問** ふるさと納税が大変少ないと感じるが、具体的な目標金額はあるか。

**答** (町長)

当面の目標としては、1億円を目指したい。

**問** 具体的な方法は。

**答** (企画観光課長)  
今年度、民間企業から地方創生人材がふるさと納税の担当として町に来ている。町内の業者を熱心に回り、新商品の掘り起こしなどをしていきたいと考えている。

松崎町ふるさと納税額の推移

年度	金額
令和元	3,200万円
令和2	3,800万円
令和3	4,500万円
令和4	5,900万円
令和5	6,000万円
令和6	6,300万円

近隣市町とのふるさと納税額の比較 (令和5年度)

市町	金額
下田市	4億4,000万円
東伊豆町	6億1,000万円
河津町	1億3,000万円
南伊豆町	2億6,000万円
西伊豆町	8億円
松崎町	6,000万円

**問** 高齢者や障がいのある人が災害時に安心して避難するために国から令和8年度までに個別避難計画を作成するよう求められているが、どのようにして整備するのか。

**答** (町長)

**問** 個別避難計画を作成するために、本人のことを良く理解している地域のケアマネージャーや、相談支援専門員など福祉専門職の力を借りることは考えていないか。

**答** (町長)

町では要支援1から要介護5までの高齢者と身障手帳1級および2級、療育手帳A、精神手帳1級の方で施設入所者以外を対象に個別避難計画の作成準備を進めている。

まずは今年度導入するシステムで計画を作成することを考えているが福祉専門職と連携をし、本人や地域の状況にあった計画づくりは検討していきたい。

## 問 コンパッションの理解度は

## 答 調査はしていない



深澤 守 議員



動画



住民参加の「学びあい講座」の様子

**問** 第6次総合計画がスタートして2年が過ぎた。コンパッションタウン松崎の施策は、町民に何パーセントくらい、理解されていると認識しているか何う。

**答** (町長)

町は、令和5年3月に第6次総合計画を策定しました。どの程度の理解が得られているか、調査はしていないので数字的にはわかりかねるが、毎年実施している町政懇談会や町のホームページ、また、毎月発行している広報まつぎの町長コラムなどにおいて、随時、町民の方にご理解いただけるよう努めていく。

**問** 総合戦略では、2030松崎プロジェクトと連携して施策を推進していくとあるが、具体的にどのように運用をしているか何う。

**答** (町長)

今回の総合計画は「住民参加型」の計画となつ

ている。2030松崎プロジェクトは、町に關係のある町内外の多くの人たちからなる団体で、2020年12月に始動し、2030年を目標に設定して、チーム単位の地域づくり活動を進めていた。このプロジェクトに対しては、さらなる多様な人たちがまちづくりに参画する受け皿になっていくなど、力をあわせて新しいかたちのまちづくりを進めていきたいと考えている。

### 問 企業版ふるさと納税は

### 答 4つの循環で

**問** 企業版ふるさと納税をもちうために、どのような計画を立てたか何う。

**答** (町長)

企業版ふるさと納税の寄附をいただくには、総合戦略を策定し、それを基に地域再生を図るため

に行う事業を明記した地域再生計画を作成し、国の承認を受ける必要がある。現在の町の地域再生計画は、総合戦略にある4つの循環「地域経済を強くする循環」「人が活躍し人を呼び込む循環」「子どもを育て、教育する循環」「健康で安心して暮らす循環」に関する事業に対して寄附が受けられるようになっていく。

**問** 花とロマンの里の本来的意味を再認識し、町民に理解してもらい実践することが、今の松崎町には必要と思うが、どのように考えるか何う。

**答** (町長)

美しく温もりある松崎町を守り続けていけるよう、総合計画の立案にあたり「松崎町の恵みと誇りくまの『よさ』を大切に守るく花とロマンの里」を基本姿勢のはじめに上げている。

### 問 広域ごみ処理事業の今後は

### 答 あらゆる可能性を検討



高橋良延 議員



動画

**問** 南伊豆町が離脱し、1市3町の枠組みが崩れた中、今後の対応は。

**答** (町長)

1市2町での整備。その他広域での処理など、さまざまな方法について検討していく。

**問** 東伊豆町・河津町で運営している東河エコクリンセンターに、ごみ処理を要請する考えは。

**答** (町長)

どのような形でどのよう

はないか。  
**答** (町長) 可及的速やかに対策を考えることは必要で、広域の中でも検討していく。

**問** 令和10年3月末までの操業延長となっているクリーンピア松崎の延長協議についてどのように考えているのか。

**答** (町長)

広域ごみ処理事業の方向性が決まり次第、雲見区に説明する。クリーンピアの建替えや、大規模改修し、いつまでも運営していくことは考えていない。



クリーンピア松崎の将来は

**問** 住宅耐震化対策は

**答** 検討していく

**問** 避難をするうえで、まずは自らの命を守ることに重要となる。住宅耐震化の低い松崎町において、町独自の対策は。

**答** (町長)

令和7年度で終了予定であった県の木造住宅耐震補助金が継続する方向となったので、改定内容を確認し、令和8年度以降の対策を検討する。

**問** 町津波避難計画の避難行動要支援者1753人と町登録者105人は

あまりにもかけ離れている。実態に合った把握をするべきではないか。  
**答** (健康福祉課長) 現在、対象者の洗い出しを行っている。

**問** 組織が弱体化している

**答** 工夫と改善を行う

**問** 中途退職など職員が減っている中、業務負担はますます増えている。町民生活を支え、町の政策を推進する組織の弱体化が懸念される中、どのような対策を講じるのか。  
**答** (町長) 社会人経験者の中途採用を随時行っているが、十分な数を確保できていない。業務の効率化やDXなどの活用も必要だがそれ以前に業務に対する姿勢として、工夫と改善をしつかりと行っていく。

**問** 2年間で4000万円の人材投資をした地方創生人材の動きが、見えてこないという町民の声があるが、任期を終えて期待した効果、成果はあったのか。  
**答** (町長) 民間企業の専門知識や業務経験、さらに人脈やノウハウを活用し、松崎町のPRや業務改善に取り組んでいただき、満足できる成果が得られた。

**問** 財政調整基金積立の目標額は

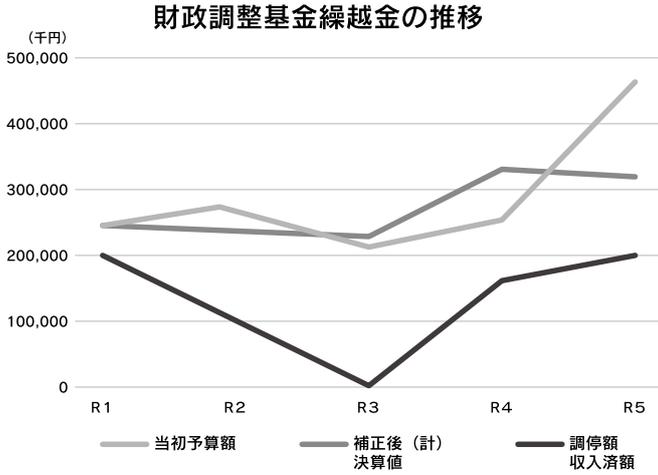
**答** 明確に定めていない



菜野良枝議員



動画



財政調整基金とは、地方公共団体が年度ごとの財源の変動に備えるために積み立てておく「自治体の貯金」のようなもの。

- 問** 財政調整基金を5億円余取り崩して予算を編成している。基金が減る状況で津波避難タワーや防災公園の整備、一部事務組合で検討中の斎場や下田消防本部庁舎建設に対応していけるのか。
- 答** (町長) 今後、大規模な工事を控えており、厳しい財政運営が見込まれるが、施策を進めるため、国や県と情報を密にとり対応していきたい。
- 問** 津波避難タワー3基、防災公園は計画的に進めると理解してよいか。
- 答** (総務課長) 防災公園は皆さんと意見交換し整備、津波避難タワーも今後整備を行っていききたい。
- 問** 令和8年度予算編成をどう考えているか。
- 答** (町長) 厳しい財政運営が見込まれるが、「コンパクトタウン松崎」の実現の

- ため、各種施策を着実に進めることを念頭に置き、限られた予算で最大の成果を発揮できるように予算編成に臨みたい。
- 問** 繰越が多くなならない方がよいのではないか。
- 答** (町長) 当初予算に上げたものは、できるだけ速やかに執行できるようにスケジュール感を持つて進めるが、事情がある場合は説明し、執行していきたい。
- 問** リチウム電池回収は
- 答** 電池として回収
- 問** 町が出している「出し方・分け方ガイド」ではモバイルバッテリーは「できるだけリサイクル協力店にお持ちください」となっているが、実際に持ち込める場所の例は。
- 答** (生活環境課長) 認識していない。

- 問** ごみ回収の中で、全国では8543件の火災事故が発生している。町でリチウム蓄電池が原因の火災事故の発生はないか。
- 答** (町長) 過去にクリーンピア松崎のごみピット内で火災が発生した記録はあるが、リチウム蓄電池が原因かは不明。
- 問** 充電式の電気機器にはバッテリーが内蔵されている。リチウム蓄電池の危険性について注意喚起を考えているか。
- 答** (町長) 加熱式たばこ、ハンディファン、作業服用ファンなど身近なものも増えているので、今後、広報などでの周知も検討していく。
- 問** 近隣との連携した回収の調整の考えはあるか。
- 答** (町長) 周辺市町や県とも相談し、検討していく。

次の定例会は、9月3日(水)からの予定です。

## 議会のらごき

### 4月

- 8日 広報編集委員会
- 16日 広報編集委員会  
議会基本条例制定特別委員会
- 24日 議会だより 147号発行  
第1回臨時会

### 5月

- 19日 議員会工事現場視察 (町内)
- 20日 議会全員協議会・教育環境整備に向けた松崎町西伊豆町議会合同説明会
- 23日 賀茂郡町議会議長会総会 (南伊豆町)
- 26日 重要問題懇談会
- 27日 町村議会議長・副議長研修会 (東京都)
- 28日 議会運営委員会・広報編集委員会
- 30日 静岡県地方議会議員連絡協議会総会 (静岡市)  
下田地区消防組合議会臨時会

### 6月

- 3日～5日 第2回定例会
- 18日 第2回臨時会
- 19日 総務常任委員会視察研修  
副町長との懇談
- 28日 町民と議員の懇談会

表紙の写真「弘法杉」は文化協会写真部より提供。

#### 発行責任者

議長 田中道源

#### 編集委員長

高柳孝博

#### 編集委員

藤井昭一  
菜野良枝  
高橋良延  
小林克己  
深澤守  
藤井要



この人に  
聞きました④  
ICHIGO・ICHEE オーナー  
田代 啓 さん  
田代 江里子 さん

町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回は、飲食業を営む田代さんにお話を伺いました。

○活動の内容について教えてください。

私たちは2年前より櫻田にてクラフトビール居酒屋「ICHIGO・ICHEE」を経営しています。普段なかなか出会うことのない国内や世界各地のクラフトビールを提供しています。

クラフトビールの素晴らしさ、ビールがたぐ人々との縁を大切に、今日の出逢いが特別な時間になりますようにという一期一会の気持ちを店名にしました。

○課題や今後の活動は。

将来的に松崎町名産物となる、ご当地クラフトビールの開発や醸造を目指し、若い世代が松崎で夢を実現できる環境を一緒に作り、元気の種の一つになれるよう発信して

いきたいです。江奈にカラオケやアミューズメントが充実している『えくな店』もオープンしたのでぜひお越しください。

○町への要望は。

人が集まり、語らい、つながる場所を町につくりたい思いで店を始めました。今後も各イベントや、観光客へのPRなどのできる限りの協力しますので、一緒に町を盛り上げていきましょう。  
(聞き手 編集委員長)

## 海鳴り

「三馬の鞭」の逸話によると、鞭の振り上げられる動きを見て走り出す馬を上馬、一度鞭で打たれて走り出す馬を中馬、何度も何度も打たれてやっと走り出す馬を下馬と言うそうです。大覚禅師は「鞭影を見て走るは即ち良馬に非ず」と弟子たちに説きました。真に優れた馬は、鞭の影を見る前から走り出す馬のことです。誰かに言われて動くのではなく、自らの意志と判断で行動する重要性を教えてください。

多くの先人たちの汗と知恵、思いが積み重なって現在の松崎町があります。未来のために議会は重要な役割であります。現状維持に甘んじることなく、常に先を見据え、町民の皆さまの声に真摯に耳を傾け、自ら考え、行動する議会でありたいと考えております。町民の力を少しずつ出し合っ

(議長)